

第12回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日時 平成27年10月14日(水)午後2時から6時30分

2 場所 四日市市役所9階 教育委員会室

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中章(委員長)・黒崎直(副委員長)・伊藤久嗣・岡田登・古市立美

【アドバイザー】

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 竹内英昭・川部浩司

久留倍遺跡運営委員会 鈴木克司

三重小学校長 荒木昌俊

【事務局】

伊藤伸樹(社会教育課長)・堀越光信・葛山拓也・五十棲孝子・加藤淳次・石毛彩子・山本達也・

川崎志乃

4 傍聴者 1名

5 会議録(要旨)

(1)開会

挨拶:課長より

(2)協議事項 司会 山中委員長

①ガイダンス施設の展示造作(案)について

<全体・ホールについて>

事務局	頂戴したご意見のプリントの説明。
A 委員	背景写真についてどうか。ほぼ意見が分かれている。
B 委員	四日市港からの日の出はいつでも見ることができ、久留倍でも今の日の出は見えるから、現在の場所で何もなかったころの昔はこうであったのではという方がよい。
A 委員	多数決で決めるつもりはない。
C 委員	反対で、四日市港の今の方がよい。
事務局:	折衷案で今の四日市の風景の中で、当時としては要らないものを消してしまうというのはいかがでしょうか。
D 委員	まさに現在に続いているという歴史のつながりの中で、見学者の想像をかきたて、想像力をガイダンス施設で育てていってもらえたらと思う。
A 委員	多数決にするわけではないが、ちょっと現代の方が多い。
E 委員	日の出の明るい方の写真がよい。太陽と月の差ほどある。
アドバイザー-1	今度、朝明中の生徒が演劇をするのだが、その時代の背景としてパワーポイントで映す。吉野の様子はどうするのか、熊野古道へ行ってくるのかということになるが、それがコンビナートの景色ではおかしいと思う。コンビナートはない方がいい。
アドバイザー-2	イメージ的には明るい方がいい。2枚目の方。
アドバイザー-3	好みの問題だと思うが、四日市市の方々が見て、なじみのある風景がいいのでは。

事務局 東向きとか朝日とかを我々は先入観で思っているから写真で朝日と分かるが、初めての人が2枚目のような東向きを夕日と思わないか。初めての人にもわかるようにどこかに説明があった方が良いでしょう。

E 委員 日の出イメージの方でも、満月ではなく太陽とわかるだろう。

事務局 社会教育課のプリンターの性能が良くないからこのような写真に見えるが。実際はもっといい。

B 委員 四日市の夕日は絶対に山に入るので、間違うことはないのではないかな。山がなく、海であれば朝日であるので日の出のイメージの方がいい。

E 委員 コンビナートが中途半端で、「発見古代の役所」という文字のところにポートタワーがきている。コンビナートの3本柱があって、役所のバックは、タワーである。

事務局 この写真は生桑から撮った写真なので3本柱の煙突は四日市火力。

E 委員 この建物群はごみのようだ。

A 委員 このままでは決まらないので、委員長預かりとしてよろしいかな。写真は保留とする。以下文言及び年表についてご意見を。

私は、一昨日、ホールの「発見！古代の役所」と1の「発掘された古代の役所」で「古代の役所」が同じなので、考え直した方が良くと言った。思いつきで考えたのだが、「発見！朝明の役所」「久留倍の丘を掘る」とかに変えてはどうか。

C 委員 この場で文章を一つ一つ決めていくのか。

A 委員 ある程度まとめていかないといけないかな。まずは、年表にいく。欠席のG委員委員から、縦書きの漢数字は読みにくいので算用数字での表記はどうかといわれているがどうか。

事務局 前回の会議で縦書きは漢数字でと言われたのでそのようにした。

C 委員 年号の後に西暦の表記があるが、普通は西暦でかつこの中に年号ではないかな。

事務局 すべて統一してあるが、前回は年号で西暦ということであった。

B 委員 二桁の日付の書き方。11月は十一月なので二三日は、二十三日の方がいい。

事務局 二十三とすると長くなるが、二十三と十を入れる。

A 委員 もう一つの課題、中学の年表が、平安時代の項目が少なくて少し増やしているが、中学の教科書にこだわらずにもう少し増やす方がいいのかどうか。平安時代は長く、ここでは、行間を開けているのでみっともない。ぜひこれは入れたほうがいいのかというものを提案してほしい。

事務局 机の上の新しく配った資料に中学の資料集の年表をつけている。

B 委員 この前の年表であったものが抜けている。白鳳大地震は入れられていた。630年の第1回遣唐使も入れる。坂上田村麻呂が征夷大將軍になる、胆沢城を築くは入らない。

事務局 教科書に入っているのは、坂上田村麻呂、胆沢城を築く。良房摂政、基経関白、遣唐使の停止。

B 委員 基経が2回出てくる。887年摂政。872年関白。

A 委員 866年良房摂政。基経関白は887年。

事務局 順番はあっているが、年号が違う。

B 委員 「788年最澄比叡山延暦寺建立する、空海高野山を下賜される」とある。同じ内容が違った表現になっている。下賜されるは事実だが、普通の年表には空海高野山創建と書いてある。

事務局 入らないのはわかっているが、行間が空くのでふさわしいものがあつたら。

B 委員 延喜式(927)を入れては。年表の長さをそんなに考えなくてもよい。倭名類聚抄(931～

- 938) 編纂されるがあった方がよい。このころにあったものを、四日市市史の年表編(文末参考参照)からとってきたほうがよい。
- 事務局
このころのものはほとんどない。
- B 委員
902 年まで入っているから、延喜式ができたもがあった方がよい。久留倍にまさに関係してくる。ヒットしてくる。
- A 委員
大学生しか知らないことで難しすぎると思うが、倭名類聚抄も延喜式も是非入れるべきだ。重複しているものは削った方がよい。年表の長さは気にしなくてよい。
- D 委員
年表の長さは気にしなくてよい。博物館へ行っても空いている。それより、お客さんが見てわかることが原則。
- B 委員
時間の長さで均等配分すると、前半に偏っている。年表の長さを気にすることはない。大きな柱を記入する。
- 事務局
平安は、主なものだけある程度余白を開けて記入してよいか。
- A 委員
平安時代については、調整をすること。
年表で、I 期のはじめが 672 年に始めるように線が引いてあるのが気になる。久留倍遺跡があった可能性はあるが、官衙が壬申の乱のときにあった証拠はない。
- B 委員
報告書によると、遺跡の裾の遺構で出土した土器は、7 世紀後半。
- 事務局
SB412 では、7 世紀後半の土器が出土。そこには 7 世紀後半の竪穴住居があるので土器は混入と考えられる。竪穴住居より後の 7 世紀後半以降と考えると SB412 は 7 世紀末。
- B 委員
包含層の遺物はどこの包含層のものか。SB412 のかぶっていた土の中から出たものか別の場所の包含層から出たものかがわからない。
- 事務局
包含層の遺物は、SB412 にかぶっている包含層なのか別の場所の包含層なのか、今はわからないが、グリットを見ればわかる。
- B 委員
このように報告書を載せてしまうとわからない。
- 事務局
その点については、また報告する。
- D 委員
斎宮歴史博物館は、平安時代の歴史博物館であるが、年表でも困った。斎宮の土器の編年が確立していない、難解であるので。始まりはカラーで薄くすとか、長い波線で表している。I 期 II 期 III 期の間の矢印は何か。時代のつながりを表していると思うが、矢印は見たことがない。
- A 委員
矢印は私が言い出した。I 期は 7 世紀後半か 7 世紀末か、8 世紀初か。久留倍遺跡の性格からするとシビアな問題。報告書は事実関係をはっきりさせているもので、はっきりしていない。670 年から線をまっすぐ伸ばすのは、事務局の勇足。ちょっとぼやかして薄くする点線にするとか、はっきりしているところは黒にするとかはどうか。訂正すべきである。
- C 委員
年表でも斜めの線にしている。
- B 委員
そのような工夫なら良い。
- A 委員
また、何か出てきたら知らせてもらう。
- B 委員
タイトルは「発見四日市の歴史」「発見古代の四日市」などはどうか。
- 事務局
欠席の F 委員の意見の中に、東向きの古代の遺跡ということがはっきりしないというのがあったので、このようなことをいれてはどうか。
- B 委員
四日市市にも古代があったという方がよい。中世の四日市場から始まっているとっている人がいるから、はっきりした方がよい。
- D 委員
博物館がジオラマ展示ばかりになっているので、古代があるということや、こういう展示も大事。

A 委員 | タイトルについてはメールで出してもらいたい。各コーナーのメインタイトルなので大事だ。ホールについては終了。

<1 発掘された古代の役所>

A 委員 | 先生方で意見のある方。
周りで出土している遺物のキャプションはどうするかということだが、国が決めた史跡範囲があるが、遺跡としては一緒なので、久留倍官衙遺跡でいい。

事務局 | (展示ケース1について説明)

A 委員 | 展示ケース1の説明をいただいた。初期の案ではただこんな遺物がありますだったが、どこから出たかによって意味も説明できるのではということで詳しくしてもらった。

あらためてしてみると緑釉や黒丸が正倉院の堀の切れているところから出ているので、具体的に説明した方が、わかりやすい。それ以外に埋納土器や唾壺も。

土師器須恵器が5枚重ねられて埋められている。東端のところから出てきている。これらも、なんらかの意味があるのでは。

事務局 | (事前の先生方の意見を紹介)

A 委員 | 展示ケースの遺物の説明は詳しくあったが、長大な建物の絵を変えるのはそんなに難しいか。視点を下げたらいいのだが。

事務局 | 手書きで書いているので、回して見方を変えるには書き直しになる。

A 委員 | 1棟だけだ。

事務局 | 長大な建物の下にある写真は違う角度からとったものなので、絵に合わせて遺構写真を変える。

A 委員 | イラストは斜めからなのでそれでよい。G委員の意見は尊重した方がよい。低いところから見たように書き直してもらいたい。

B 委員 | 長大な建物のイラストは白壁でいいのか、板壁ということはないか。根拠があればこれでいいが、白壁では何か他の意味を持つ。単なる倉庫ではなくなる。

事務局 | 建物のイラストについては、G委員と相談をして決める。

B 委員 | 長大な建物は屋根も檜皮葺きのような表現だが、正殿は板葺きのはず。いいのか。

A 委員 | 第1部の写真及び図はこれでいいのか。文章はできなかったが、それ以外について。

B 委員 | 埋納土器の出土位置はこれぐらい離れていてもいいのか。倉庫にこだわらずに考えては。

A 委員 | 出土状況写真のいいのがないらしいが、5枚が重なっているとは知らなかった。

事務局 | 出土時には、遺物は半分しかなかった。重なって見えたので地鎮と想定した。

B 委員 | この×印の埋納土器が出たところは、すごく離れているがいいのか。

事務局 | 委員長からは、遺跡全体にかかわる埋納土器ではないかとアドバイスいただいている。

A 委員 | 時期はいいのか。

事務局 | 8世紀第3四半期と報告書にはある。正倉院を文章に入れたのは、8世紀後半に整備したという意味で入れた。ふさわしくないなので文章を改める。

B 委員 | 正倉院建築のために土地の神を鎮めるといいますが、正倉院の区画溝のかなり外で出ており、地鎮は普通は柱の中から出てくるものだから、遺構と重なっていないので正倉院のためというのは無理がある。

事務局 | 重なっている部分を考えていった方がいいのでは。今回の報告書でⅡ期とⅢ期の頭と重なると考えてもよいのでは。

B 委員 ×印が書いてあるところはまだ掘っていない。埋納土器のところは、谷地形で南の端。逆に言うと掘っていないところの地鎮ではないのか。正倉院と結びつけるには、地鎮は離れすぎ。なぜ、正倉から出てこないのかという疑問が出てくる。こんな端なのに正倉院と結びつけるのはどうかと思う。

事務局 埋納土器は、展示に入れていいのか。

B 委員 倉庫群と結びつけなければ展示はよい。

A 委員 時期の問題が一番だが、8世紀後半は本当にそうなのか。8世紀第3四半期は760年ぐらい。自信を持って言えるのか。杯の中に入っているのは、土師皿か。

事務局 須恵器の杯の中に土師皿が入っていた。

A 委員 遺跡の範囲は、この線であるが、外側については同じ時期であるか解釈は重要である。他人のためにわざわざ地鎮をしたら。

事務局 展示遺物の8～12が埋納土器で、土師皿3枚と須恵器の杯身杯蓋。土師器は幅があるが、須恵器は8世紀第3四半期と言える。

A 委員 この前聞いたら5枚重なっていたといっていたが。

事務局 図の外側が須恵器。須恵器の中に土師器皿が3枚が入っていた。

A 委員 バラバラにしないで出土状況図のように中に入れて展示をしたらよい。

事務局 入れて展示も可能であるが、中の皿がみえなくなる。

B 委員 出土写真はないのか。

事務局 ブローニで撮ってあるが遺構がかなり浅くて半分しかなかったのでよくわからない写真になってしまった。

B 委員 正倉院を整備していく中でなんらかの地鎮をしていたとした方がいいのでは。

A 委員 敷地全体の造成と考えたらどうか。Ⅲ期の中でもかなりの斜面だから、上の層が消えてしまっている。

C 委員 掘方の中に入っていたか。

事務局 掘方を攪乱が削っていて半分の状態で出てきた。攪乱を外すと出てきた。完形ではない。

C 委員 埋めた場所は間違いないか。

事務局 はい。

事務局 倉庫群の敷地を整備するとかの表現として。

B 委員 見た人から質問されたら、どう結びつけるのか。出土位置がはるか離れている。ぼかしてもらった方がいい。

事務局 埋納土器の時期と正倉院の時期が重なっているならいいが。

A 委員 土器が重なっているのと、捨てられるのは明らかに違うので、緑釉と東側の欠けている所の性格の違うところの表現をはっきりさせたら、こんなことをしているとわかる。展示ケースについてはこれで。他に建物群と関わってどうか。

事務局 I期と関わるが、ここでも7世紀後半から8世紀としているがどうか。

A 委員 B委員が言っている7世紀末は間違いない。7世紀後半とは違う。

B 委員 報告書を見ると7世紀末だ。

事務局 古くなるか。

B 委員 7世紀後半でいい。SB412に伴わないかもしれない。

A 委員 7世紀後半の人たちが捨てたのは間違いない。I期と結びつくかどうかはわからない。

B 委員 周辺に竪穴があるが、7世紀末はいいけど、7世紀後半とは言えないと報告書には書いて

- いる。
- A 委員
事務局 指定地外の北東裾部の建物の評価。
これについては、久留倍遺跡の建物と方角を比較してみると、5棟のうち3棟が同じ方角なので同時期。土器を見ると7世紀末から8世紀前半。重複を考えるとI期の間だろう。何のためにあったのかについての歴史的意義は報告書で踏み込んでいない。
- B 委員
事務局 SB412と上の政庁とは方角はあっている。SB412は建替えも行われている。
SB455から7世紀末から8世紀初めの土器が出土している。
- B 委員
事務局 7世紀末まではいい。それから先は、包含層の時期は、
もう一度調べてみる。
- A 委員 7世紀末とするべき。確定かどうかわからないが。

<2 朝明郡と役所の仕事>

- A 委員
事務局 「2の朝明郡と役所の仕事」にはいる。
(事前のご意見の資料を説明)
- A 委員
アドバイザー2 何か意見があったら。
文章表記について、文体の統一や内容の調整をしてもらいたい。
- A 委員
事務局 それ以外に、第2章第2部はどうか。
(展示ケース2について説明)
- A 委員 博物館がリニューアルして、借りることができる物があるのは、ありがたい。
もし借りられるなら、服を借りて身に着ける様子を展示したらわかりやすい。
- C 委員
事務局 2に筆と墨があるが、硯は無いのか？墨と硯はセットだから置いた方がいい。
復元でいいか。1点しか出土していないから。
- B 委員 岡山古窯跡から硯が出ている。石帯も久留倍出土品ではないから、時期的に重なるので良い。
- A 委員 三重大学にいっぱいあるので貸すことはできる。
- B 委員 宮の西遺跡の木簡「柴田郷長」は大事。柴田は重要な場所。木簡は中央へ行ったものしかないから、ここでも出ていることが大事。石帯も出ている。おそらくお正月には着けて朝明郡衙へ行っているだろう。
- 事務局 宮の西遺跡は三重郡である。木簡のレプリカを展示する。
- B 委員 黒鯛の木簡が出されるので一緒に。
- 事務局 イラストの補足。製塩について委員長より指摘もらった。9ページの絵で何をしているのかわからないので、展示ケース横の低いところにわかりやすい解説を入れる。絵は、手前が道普請。中が米作り・稲作。奥が海に関連する漁業と製塩の4つになっている。季節的に統一していないので、当時北勢で藻塩の海藻を焼いているかどうか分からないので相談したが、専門家に尋ねたらおかしいということになった。
製塩は、三重愛知で行われていたが、この絵の土器は知多式で、四日市は志摩式の製塩土器にするべき。海藻で海岸が真っ黒になる。焼き塩を煮詰める方法は、志摩式は全く分からない。北勢地方では製塩遺跡は見つかっていない。事務局としては製塩の絵をやめたい。無理があった。
- B 委員 奈良時代の伊勢国・志摩国の調は塩だが、南の方から出しているだろうから、この辺りから出すことはなかっただろう。
- 事務局 9ページの裏に説明を付けたが、伊勢国から庸・調の持って行っているものはわかって

- も、朝明郡からと確定できるものがない。
- B 委員 削除した方が良い。この辺りは消費地で、海岸べりで製塩土器が出てくれば良いが、久留倍からは志摩式の土器が1点も出ていない。
- A 委員 朝明郡でしていたものとして描いたのだろうか、3 ページの資料は、一般論だろう。道路の工事も一般論である。
- 事務局 知多式のイラストを書いたばかりにそのような意見をいただいた。
- A 委員 製塩は一般的には鉄釜だろう。本当かなとずっと思い続けている。私としては、製塩遺跡は、水没していると考えている。志摩式製塩土器は、出てこない。全部そのようなことを言ったら、この図全体が要らなくなる。このコーナーは、無しになる。
- B 委員 機織りとか、足踏み式とか。庸調にあたるものとか、土器を確認したらよい。久留倍遺跡から紡錘車は出ていないか。
- 事務局 出土している。時代は古墳。石と土器が出土。
- B 委員 木製品の中に奈良時代と平安時代のはなかったのか。
- 事務局 弥生時代が中心で中世もある。古代も一部ある。
- B 委員 土錘は出ているのだから。
- 事務局 魚だったら、三重郡から黒鯛木簡が出ているから。黒鯛を取っていたらいいのか。昔は取れた。
- 事務局 今でも釣れる。22匹の数がそろうのは無理。生では送れないが、干物なら送れる。
- B 委員 海が際まで迫っていた、そういう絵を描いたらどうか。土錘が出土しているから網でとっていた絵で。アクセントみたいなどころだから、古代の生活を垣間見るだけで、このイラストで久留倍を語るわけではない。イメージをしてもらいたいただけ。「朝明郡と古代の役所」より、「朝明郡の古代の生活」「人々の暮らし」だ。
- 事務局 イラストはそうだが、それも税として絵を描いている。コーナーとしては役所の仕事。
- B 委員 調庸にあたるものをイメージするもの。
- 事務局 木簡の写真の積文は、欠けているところは、□を書いておくとかするとよい。
- B 委員 まだ、積文が確定していない。
- 事務局 「ぬかた」は、間違いないか。
- B 委員 画像で確認した。委員長からもらった小林宗治氏の論文を読んだが、われわれでは理解できない。
- A 委員 書いたのは、国文学の人だ。B 委員に読んでもらうとよい。イラストは一般論にするのか。朝明郡に特化するのか。データが少ない。
- B 委員 一般論だ。
- 事務局 黒鯛を入れるのか。塩はやめて。
- B 委員 絹織物かどうか、縮も。鯛をいれておいたら。こだわることはない。誤解がないように。
- C 委員 海をやめるか。でも、海に近いことを言いたい。
- 事務局 海の仕事を大きくするかとかはどうか。
- A 委員 砂浜で、貝とかは取らないのか。鯛の取れるところは、潜ったら、岩場と聞くが。
- 事務局 黒鯛は、岩場でなくても小さいうちなら取れる。大きくなると岩場で取る。大きくなると干物にならない。
- A 委員 では網で。
- B 委員 土錘が何個か出ている。魚を取っていたことははっきりしている。縮もはっきりしているが、今のイラストでは織る場所が問題。塩はやめる。

A 委員 タイトルは、「朝明郡の人々の暮らし」でどうか。

C 委員 そこまで変えると変えすぎ。1と2が役所。

B 委員 大膳寺の瓦で「医王寺」と読めるものは展示しないのか。

事務局 字は反転している。時代は同じ。

B 委員 平安時代。

事務局 文字がよくわからないのでやめた。軒丸瓦は、模様が良くわかるものとして選んだ。

B 委員 智積の墨書土器は？大膳寺跡は、「医王寺」と書いてあるものを出してほしい。

事務局 今はあさけプラザ。

 下江平遺跡の墨書土器がなくなったので、遺物としては入る。

< 壬申の乱と聖武天皇の東国行幸 >

A 委員 3 番はどうか。

事務局 (事前のご意見の資料で説明)

 最初の指摘は、モノクロの中に入れさせてもらっている。鈴鹿の関を入れる、大友皇子が自殺した山前を入れた。図の訂正がある。飛鳥浄御原宮は□で、吉野宮は○。

A 委員 国境を入れたら。

事務局 入れる。尾張も入れる。

B 委員 淀川は、川筋が入っているので、木曾川・揖斐川・長良川も入れておく。

事務局 入れる。

B 委員 左が余っているので左に寄せる。

事務局 朝明郡の郡家の海辺近くを下に拡大している。原因は残っていないが、鈴木敏雄さんが写した日永六呂見古地図という絵図がある。博物館で展示した時には、海拔 5m の線をトレースし、遺跡の分布を加味して当時の海岸線を復元した。そこに入っている河道は迹太川説のあるものである。

A 委員 「輿」については、橋本義則さんの「古代御輿考」というのがあり、天皇皇后の輿について書いているもので、伊勢行幸について触れているものではないが、3 セットで動くので 3 人いるのじゃないかという強い意見。吉川真司さんにも聞いたが、3 人じゃないかという意見で、にぎやかになるし、3 人でというのが私の意見。岡田先生からの厳しいご意見をもらいたい。

B 委員 私は、万葉集に「吾の松原」で天武天皇が歌われた「妹に恋」があるので、光明皇后は来ていないと考えている。

事務局 三重大学名誉教授の廣岡先生は、ここに出てくる「妹」は光明子ではないというご意見。「妹」は他の複数の人の可能性を挙げている。

B 委員 これを読むと少なくとも一緒に行っていない。この歌の妹を妻と理解していて、そこまで言い切ってしまうのいいのか。光明皇后は都に残していると思う。行幸のパターンとしては大和で天然痘が蔓延して、汚れた都市になってしまったので、より良い都にと行幸している。輿を3つ描いてしまうと間違いなく行ってしまったことになる。この歌が妻ということになっていて、恭仁京に遅れてきたとあるので3人いっしょはまずい。

事務局 3人と解釈している人は、遅れてきたのは、聖武天皇がいてもたってもいられなく先に行ってしまったからと考えている。

B 委員 逆に言ったら、遅れて平城京から来られたかもしれない。一緒にいたら妻とは歌わない。

事務局 万葉集の専門家は、当時の流行の歌い方であるという。光明子がいってもおかしくはない。『続日本紀』中では、持統・元明・元正の行幸についても女官は一人も記述がない。

B 委員 一緒に行ったかを決定づけているのは、一行だけ。

事務局 3人行っているという専門家がいたので、描いてしまってもいいか。

B 委員 『続日本紀』に3人行かれたと書いてあるならいいが、書いてないので中間をとってしまったらよい。

事務局 天然痘が都に蔓延しているのに光明子をおいていくだろうか。

B 委員 旅は大変であるし、天然痘は諸国に蔓延しているわけだから、光明子・元正を連れていくのは大変。問題は最後の1行だけ。

A 委員 そうだとも、そうでないとも読める。

事務局 どちらかに決めてもらえば。

B 委員 皆さんに聞いてみてほしい。

C 委員 わかりません。絵を描くのをやめたらどうか。

A 委員 この問題はあずからせてもらおう。

事務局 その他、万葉集の宴のシーンはどうか。

B 委員 新しい資料で配っているもの、これでいいのか。服装はこんな感じでよろしいか。

B 委員 人が並んでいるイラストのことは。久留倍官衙遺跡をイメージしているのか、ぼやかしているが、Ⅱ期の長大な建物がみえる。宴会の時のイラストに女官がいないがいいのか。女官がいたら絵は難しいだろう。大変だ。光明さん元正さん大変だ。輿の数だけでも。

A 委員 宴の中に女官は出てこないのだが、一般論として。

B 委員 女官の代わりに地元の人がやるのだろう。

A 委員 そういう人は裏にいる。

事務局 こういう感じでいいのか。

B 委員 このイラストは、いらぬのでは。

事務局 展示するものがないから、どうするかということで議論を。万葉集には読み下しを付けた。

(展示ケース 3の遺物の説明)

(リーフレット置き場について説明)

「ゆかりの地を巡ってみませんか」として、関係ある資料館のリーフレットを置き、向こうに久留倍官衙遺跡のリーフレットを置いてもらえそうなところをあげてみた。

アドバイザー3 追加として松阪市嬉野考古館もある。

C 委員 甲賀市の、紫香楽宮関連遺跡群調査事務所(展示室)。山城郷土資料館。

D 委員 和遅野資料館はどんなところか。

A 委員 元の白山町和遅野。

B 委員 岐阜市の歴史博物館。大垣市の歴史民俗資料館。

A 委員 追加があればぜひ。

B 委員 向こうのも並べるのか。

事務局 向こうのを並べる代わりに向こうにも久留倍を置いてもらう。

(次に、展示の中でゆるキャラを使うか使わないかについて欠席委員のご意見を説明)

ゆるキャラのデメリットは、ゆるキャラブームは続かないこと。ゆるキャラを使わないとナレーターは一人で良くなる。ゆるキャラは万人には受け入れられるとは限らない。ゆるキャラを複数使うとナレーターが数人必要なので費用が掛かる。

- メリットは、ゆるキャラで説明すると親しみやすい。
- すでに、関市の弥勒寺遺跡で「ひろまろくん」が使われている。
- すでに整備ニュースで使用しているキャラクターがある、これから作成する映像の中に登場させるのか、映像は少なくとも10年は変わらないので、委員会で協議してもらいたい。
- D 委員
事務局
中学生との兼ね合いとはどういうことか。
- 久留倍遺跡運営委員会が、朝明中で久留倍遺跡まつりのときのポスターに毎年イラストを描いてもらっているので、どのように整理をつけるか。問題にならないのかということ。
- A 委員
E 委員
まずは、ゆるキャラを使うかどうかの議論を。
- 中学生のポスターに関しては、考えてもらわなくてよい。毎年ポスターを描いてくれる人は変わっているので。基本的には壬申の乱の戦いの兵士と女官ということだけ。来年度は、中学の美術部の生徒からはなれてレベルアップしたいと考えている。
- A 委員
いわゆるキャラクターではないわけだ。そういうものを作るかどうか検討いただきたい。この頃山ほどありますから。
- B 委員
これは、四日市市の問題である。地元の F 委員が親しみが持てるものと言っているのだから。オリンピックのエンブレム以来大変なことが起こっているから、公明性が求められている。公園のオープンまでに市民全体から選ぶならそれもよい。ここでは、ゆるキャラが説明しなければいけないことはない。学術的におかしいとかを問われたり、あまりに遺跡と離れるなら、やめた方がよい。
- D 委員
事務局
最初公園の設計をするときにかなり細かいアンケートを取っているわけで、どういキャラクターが必要か再度市民への問い合わせご意見を聞いて考えてはどうか。
- ゆるキャラを作るとすれば、映像展示は今年度の事業で、12月には内容が決まっている必要があるのでは時間がない。映像には登場しても、遺跡でのイベントでは着ぐるみはないので、遺跡にはこにゆうどうくんが来ることになる。
- E 委員
大矢知としてゆるキャラを作ったときの応募作品に、久留倍関係のものが2点あった。やるのなら、市内に募集するかイベントとして将来考えてもらった方がよい。広く募集しないで作ってしまうとなんやそんなものかになる。
- C 委員
子ども向けには、掛け合いしたら目を輝かせて聞いてくれる。今あわてて作らなくても、オープンしてから作っては。また、ナレーションで掛け合いをさせると興味を持ってもらえる文章を考えるのも大変になる。特別にしなくて良い。
- 事務局
子どもバージョンは、将来的に作る方向で。
- B 委員
事務局
公明性が言われるから。
- ニュースで使っているものは使わない。
- A 委員
キャラクターは使わない。

<映像について>

- 事務局
(資料を基に説明)
- C 委員
門に基壇があって、正殿に基壇がないのはおかしい。脇殿もいる。G 委員には見てもらったのか。
- 事務局
G 委員と相談して書き直す。遺物は今は入っていない。時期決定のできた遺物が破片ばかりなので見栄えがしない。
- A 委員
事務局
この前も言ったが、映像と言いながら固い。予算をかければできるのだから。固いところは、展示業者と柔らかくなるよう相談する。内容的にはこれでいいか。

A 委員	遺構の変遷の説明だ。業者が参画してくれるなら、回してみるとか、相談して動かしてほしい。
事務局	10 ページの映像 B を説明
B 委員	グーグルマップは使えないのか？
事務局	グーグルアースを組み合わせて使っていきたいと思っている。
B 委員	グーグルマップは見ていて楽しくなる。
事務局	グーグルアースでは視点を変えたりできるので、そのような表現ができるように対応していきたい。デジタルサイネージは調べたが、三重県立博物館で使用しているものが、小さいもので機械は 10 万円くらいだが、ソフトは 300 万～350 万円とかで、それがいくつあるかで ライセンス×いくつ となり、四日市市の予算では難しい。VR、AR、も含めて文化庁の補助をもらいたい。国の予算が付けばしていきたい。スマートグラスも今は視野が狭いが 31 年ごろには広いものができているかもしれない。AR は GPS の限界があつてずれてしまうが、クイズが出てくるなどができるので使いたい。
A 委員	それは将来の話で、もう少しビデオを撮るとかして、堅すぎるので動きを入れるように。
事務局	ドローンで撮影してみるとかして、何とかしていきたい。
A 委員	写真のアニメーションで画像が出入りするだけでは限界がある。何とかして工夫してもらいたい。
事務局	壁面を使っての映像は今は 2 本の予定。パワーポイントで今まで作成したのも映像として使用していきたい。
A 委員	視覚・聴覚障害のある方にも対応したバージョンを何種類か用意してもらいたい。
事務局	簡単なテロップならできる。ここで今困っているのは、I 期が 7 世紀末～8 世紀とすると壬申の乱の扱いが問題になる。壬申の乱はなくすのかどうか。
A 委員	壬申の乱の時、近くを通っていたことは間違いないわけだから、いいと考える。今更なくしても。
事務局	久留倍遺跡の指定理由にも壬申の乱の関係がある遺跡としているから。
B 委員	皇統系統図に代数を入れること。天武天皇と大田皇女の婚姻関係がない。
事務局	右蘇我氏、左に藤原氏と分けている。元正と文武の関係も直す。壬申の乱と行幸の色分けもする。

②説明板(案)について

A 委員	説明板のことはどうか。こういうものが必要なのか。
事務局	文化財保護法第 115 条に規定があるので。ガイダンスが来年度でき、史跡地も来年度、八脚門・正殿が建設されるが、工事中に工事の見学会なども予定しているので公園のオープンには時間があるが、建てておきたい。
B 委員	方位は東西南北を文字で入れること。矢印記号ではわからない。
C 委員	何ヶ所建てるのか。
事務局	基本同じものを、現在地①②③のところに建てる。
C 委員	同じものを建てるのか。
事務局	建てる位置で図が回転する。東向きか西向きかで上下が変わる。
A 委員	文章の中身については、時間が少ないので検討いただいて、意見のある人は後ほど伝えよう。

C 委員 事務局	後ろが上げ下げで開くのか。 資料の裏面は掲示板の図で、説明板の隣に建てる。公園ができれば情報板として掲示板を利用する。
C 委員 事務局	3ヶ所か。 そうである。

③史跡公園・ガイドンス施設の名称について

A 委員 事務局	最後、史跡公園・ガイドンス施設の名称について 資料を使って説明。案内板の設置があり、29年にはガイドンスができる。条例を作らなければいけない。近くの史跡で似たようなところを探したら、荒神谷博物館及び荒神谷史跡公園の条文が参考になると思っている。
A 委員 事務局	まずは名称について。 決定のプロセスとして、ここで決定するわけではないが、推薦の順番を決めていただければ、庁内に提案していく。
A 委員	くるべ古代歴史館、くるべ古代歴史広場がいいと思う。
D 委員	私も同じ。
A 委員 事務局	どこにこの名称が出てくるのか。 条例で決めてしまうと思う。
B 委員 事務局	ここで決める必要はない。 市長の思いが強いところなので、教育委員会の意見として持って行って決まると思う。説明板も作るので名称が早くほしい。公募をする必要はないだろうと思う。公園もできていないのでイメージもないだろう。公募をすると手間がかかる。
B 委員 アドバイザー3 事務局	基本的には国史跡になっているので、そんなにすぐれた名称は困る。 公園としての名称に公募はいらない。 公募はしない。
A 委員	この4つぐらいでどうですかともっていってもらって決めてもらえばよい。

(3)その他

事務局	今後、皆さんに個別資料を送らせてもらって直していくのでよろしくをお願いします。
A 委員	メールのBCCとかで、全員に回るようにしてもらいたい。
E 委員	11月8日日曜日に久留倍遺跡まつりを開催させてもらおう。封筒の中にポスターとパンフレットを入れさせてもらった。午後には、あさけプラザで朝明中の学生さんによる劇をしてみよう。「壬申の乱」の劇である。衣装は現在40着あるのであと10着作成する予定。29年に完成と思ってきたが、31年春になるということなので、運営委員会もどうやってもっていかうかと、次年度は新しいことをやりたい。時間がある方は、おこし願いたい。

(4)閉会